

be English Logic and Expression I Smart New Edition

※3領域について、 3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、 (TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 1 Meeting People

単元目標		・現在形や現在進行形を正しく用いて表現することができる。 ・自分や身近な人のことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢が見られる。
------	--	---

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。（TASK-A2） <技能> 動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分のことや身近な人のことについて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2）(SHARE)	目標	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。（TASK-A2） <技能> 動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分のことや身近な人のことについて、話す技能を身につけている。（TASK-A2）(SHARE)	目標	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。（TASK-A1/B/C） <技能> 動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分の朝の習慣などについて、書く技能を身につけている。（WRITE）
	a	動詞の現在形や現在進行形を適切に用いて、自分のことや身近な人のことについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	動詞の現在形や現在進行形の表現を適切に用いて、自分のことや身近な人のことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分のことや身近な人のことについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分のことや身近な人のことについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	動詞の現在形や現在進行形の表現を適切に用いて、自分のことや身近な人のことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分の朝の習慣などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分のことや身近な人のことについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、動詞の現在形や現在進行形の表現を用いて、自分のことや身近な人のことについて、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分の朝の習慣などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	自分のことや身近な人のことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。（TASK-A2）(SHARE)	目標	自分のことや身近な人のことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。（TASK-A2）(SHARE)	目標	自分の朝の習慣などについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。（WRITE）
	a	自分のことや身近な人のことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	自分のことや身近な人のことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	自分の朝の習慣などについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	自分のことや身近な人のことについての情報を、話して伝え合うことができる。	b	自分のことや身近な人のことについての情報を、話すことができる。	b	自分の朝の習慣などについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、自分のことや身近な人のことについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、自分のことや身近な人のことについての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、自分の朝の習慣などについての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	自分のことや身近な人のことについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）(SHARE)	目標	自分のことや身近な人のことについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）(SHARE)	目標	自分の朝の習慣などについての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（WRITE）
	a	自分のことや身近な人のことについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	自分のことや身近な人のことについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	自分の朝の習慣などについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	自分のことや身近な人のことについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	自分のことや身近な人のことについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	自分の朝の習慣などについての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、自分のことや身近な人のことについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、自分のことや身近な人のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、自分の朝の習慣などについての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、 3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、 (TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 2 Holidays and Weekends

単元目標	・過去形や過去進行形などを正しく用いて表現することができる。 ・休日・週末にしたことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	---

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 動詞の過去形や過去進行形の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 動詞の過去形や過去進行形を用いて、過去にしたことについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)(SHARE)	目標	＜知識＞ 動詞の過去形や過去進行形, used toの意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 動詞の過去形や過去進行形を用いて、自分の思い出について、話す技能を身につけている。(TASK-A2)(SHARE)	目標	＜知識＞ 動詞の過去形や過去進行形, used toの意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 動詞の過去形や過去進行形を用いて、過去の出来事などについて、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	動詞の過去形や過去進行形を適切に用いて、過去にしたことについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	動詞の過去形や過去進行形, used toの表現を適切に用いて、自分の思い出について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	動詞の過去形や過去進行形, used toを用いて、過去の出来事などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	動詞の過去形や過去進行形を用いて、過去にしたことについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	動詞の過去形や過去進行形, used toの表現を適切に用いて、自分の思い出について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	動詞の過去形や過去進行形, used toを用いて、過去の出来事などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、動詞の過去形や過去進行形を用いて、過去にしたことについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、動詞の過去形や過去進行形, used toの表現を用いて、自分の思い出について、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、動詞の過去形や過去進行形, used toを用いて、過去の出来事などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	過去にしたことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)(SHARE)	目標	自分の思い出についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(TASK-A2)(SHARE)	目標	過去の出来事についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	過去にしたことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	自分の思い出についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	過去の出来事についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	過去にしたことについての情報を、話して伝え合うことができる。	b	自分の思い出についての情報を、話すことができる。	b	過去の出来事についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、過去にしたことについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、自分の思い出についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、過去の出来事についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	過去にしたことについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)(SHARE)	目標	自分の思い出についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)(SHARE)	目標	過去の出来事についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	過去にしたことについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	自分の思い出についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	過去の出来事についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	過去にしたことについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	自分の思い出についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	過去の出来事についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、過去にしたことについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、自分の思い出についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、過去の出来事についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、 3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、 (TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 3 Making Plans

単元目標		・未来の表現を正しく用いて表現することができる。 ・予定について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	---

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 未来の表現の意味や働きについて理解している。（TASK-A2） ＜技能＞ 未来の表現を用いて、これからする予定について、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2）	目標	＜知識＞ 未来の表現の意味や働きについて理解している。（TASK-A2） ＜技能＞ 未来の表現を用いて、休日の計画について、話す技能を身につけている。（TASK-A2）（SHARE）	目標	＜知識＞ 未来の表現の意味や働きについて理解している。（TASK-A1/B/C） ＜技能＞ 未来の表現を用いて、休日の計画などについて、書く技能を身につけている。（WRITE）
	a	未来の表現を適切に用いて、これからする予定について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	未来の表現の表現を適切に用いて、休日の計画について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	未来の表現を用いて、休日の計画などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	未来の表現を用いて、これからする予定について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	未来の表現の表現を適切に用いて、休日の計画について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	未来の表現を用いて、休日の計画などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、未来の表現を用いて、これからする予定について、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、未来の表現の表現を用いて、休日の計画について、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、未来の表現を用いて、休日の計画などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	これからする予定についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。（TASK-A2）	目標	休日の計画についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。（TASK-A2）（SHARE）	目標	休日の計画についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。（WRITE）
	a	これからする予定についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	休日の計画についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	休日の計画についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	これからする予定についての情報を、話して伝え合うことができる。	b	休日の計画についての情報を、話すことができる。	b	休日の計画についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、これからする予定についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、休日の計画についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、休日の計画についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	これからする予定についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）	目標	休日の計画についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）（SHARE）	目標	休日の計画についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（WRITE）
	a	これからする予定についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	休日の計画についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	休日の計画についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	これからする予定についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	休日の計画についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	休日の計画についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、これからする予定についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、休日の計画についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、休日の計画についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、 3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、 (TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 4 Experiences

単元目標		・現在完了形を正しく用いて表現することができる。 ・旅行や今までの経験について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	--

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	<知識> 動詞の現在完了形の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) <技能> 動詞の現在完了形を用いて、今までの経験などについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	<知識> 動詞の現在完了形の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) <技能> 動詞の現在完了形を用いて、旅に関する経験について、話す技能を身につけている。(SHARE)	目標	<知識> 動詞の現在完了形の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) <技能> 動詞の現在完了形を用いて、行ったことがある場所や行ってみたい場所について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	動詞の現在完了形を適切に用いて、今までの経験などについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	動詞の現在完了形の表現を適切に用いて、旅に関する経験について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	動詞の現在完了形を用いて、行ったことがある場所や行ってみたい場所について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	動詞の現在完了形を用いて、今までの経験などについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	動詞の現在完了形の表現を適切に用いて、旅に関する経験について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	動詞の現在完了形を用いて、行ったことがある場所や行ってみたい場所について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、動詞の現在完了形を用いて、今までの経験などについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、動詞の現在完了形の表現を用いて、旅に関する経験について、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、動詞の現在完了形を用いて、行ったことがある場所や行ってみたい場所について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	今までの経験などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	旅に関する経験についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	行ったことがある場所や行ってみたい場所について、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	今までの経験などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	旅に関する経験についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	行ったことがある場所や行ってみたい場所について、論理的に詳しく書くことができる。
	b	今までの経験などについての情報を、話して伝え合うことができる。	b	旅に関する経験についての情報を、話すことができる。	b	行ったことがある場所や行ってみたい場所について、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、今までの経験などについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、旅に関する経験についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、行ったことがある場所や行ってみたい場所について、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	今までの経験についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	旅に関する経験についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	行ったことがある場所や行ってみたい場所について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	今までの経験についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	旅に関する経験についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	行ったことがある場所や行ってみたい場所について、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	今までの経験についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	旅に関する経験についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	行ったことがある場所や行ってみたい場所について、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、今までの経験についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、旅に関する経験についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、行ったことがある場所や行ってみたい場所について、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 5 Study and Activities

単元目標		・過去完了形を正しく用いて表現することができる。 ・学習・課外活動について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	--

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 動詞の過去完了形の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 動詞の過去完了形を用いて、高校入学時点でしていたことについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 動詞の過去完了形の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 動詞の過去完了形を用いて、達成したことについて、話す技能を身につけている。(TASK-A2)（SHARE）	目標	＜知識＞ 動詞の過去完了形や未来完了形の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 動詞の過去完了形を用いて、学年末の時点でどうなっているかについて、書く技能を身につけている。(TASK-C)
	a	動詞の過去完了形を適切に用いて、高校入学時点でしていたことについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	動詞の過去完了形の表現を適切に用いて、達成したことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	動詞の過去完了形を用いて、学年末の時点でどうなっているかについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	動詞の過去完了形を用いて、高校入学時点でしていたことについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	動詞の過去完了形の表現を適切に用いて、達成したことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	動詞の過去完了形を用いて、学年末の時点でどうなっているかについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、動詞の過去完了形を用いて、高校入学時点でしていたことについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、動詞の過去完了形の表現を用いて、達成したことについて、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、動詞の過去完了形を用いて、学年末の時点でどうなっているかについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	高校入学時点でしていたことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	達成したことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(TASK-A2)（SHARE）	目標	達成した経験が達成できなかった経験についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	高校入学時点でしていたことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	達成したことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	達成した経験が達成できなかった経験についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	高校入学時点でしていたことについての情報を、話して伝え合うことができる。	b	達成したことについての情報を、話すことができる。	b	達成した経験が達成できなかった経験についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、高校入学時点でしていたことについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、達成したことについての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、達成した経験が達成できなかった経験についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	高校入学時点でしていたことについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	達成したことについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)（SHARE）	目標	達成した経験が達成できなかった経験についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	高校入学時点でしていたことについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	達成したことについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	達成した経験が達成できなかった経験についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	高校入学時点でしていたことについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	達成したことについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	達成した経験が達成できなかった経験についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、高校入学時点でしていたことについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、達成したことについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、達成した経験が達成できなかった経験についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 6 Food

単元目標		・可能や推量などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・食べ物や食事に関することについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	---

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 可能や推量などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 可能や推量などを表す助動詞を用いて、食べられないものや苦手なものについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 可能や推量などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 可能や推量などを表す助動詞を用いて、食べられないものや苦手なものについて、話す技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 可能や推量などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 可能や推量などを表す助動詞を用いて、好きな〔苦手な〕食べ物について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	可能や推量などを表す助動詞を適切に用いて、食べられないものや苦手なものについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	可能や推量などを表す助動詞の表現を適切に用いて、食べられないものや苦手なものについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	可能や推量などを表す助動詞を用いて、好きな〔苦手な〕食べ物について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	可能や推量などを表す助動詞を用いて、食べられないものや苦手なものについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	可能や推量などを表す助動詞の表現を適切に用いて、食べられないものや苦手なものについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	可能や推量などを表す助動詞を用いて、好きな〔苦手な〕食べ物について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、可能や推量などを表す助動詞を用いて、食べられないものや苦手なものについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、可能や推量などを表す助動詞の表現を用いて、食べられないものや苦手なものについて、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、可能や推量などを表す助動詞を用いて、好きな〔苦手な〕食べ物について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	食べられないものや苦手なものについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	好きな食べ物についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	好きな〔苦手な〕食べ物についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	食べられないものや苦手なものについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	好きな食べ物についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	好きな〔苦手な〕食べ物についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	食べられないものや苦手なものについての情報を、話して伝え合うことができる。	b	好きな食べ物についての情報を、話すことができる。	b	好きな〔苦手な〕食べ物についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、食べられないものや苦手なものについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、好きな食べ物についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、好きな〔苦手な〕食べ物についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	食べられないものや苦手なものについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	好きな食べ物についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	好きな〔苦手な〕食べ物についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	食べられないものや苦手なものについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	好きな食べ物についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	好きな〔苦手な〕食べ物についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	食べられないものや苦手なものについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	好きな食べ物についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	好きな〔苦手な〕食べ物についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、食べられないものや苦手なものについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、好きな食べ物についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、好きな〔苦手な〕食べ物についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 7 School Life

単元目標	・義務や確信などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・学校生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	---

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 義務や確信などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 義務や確信などを表す助動詞を用いて、学校生活でしなければならないことについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 義務や確信などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 義務や確信などを表す助動詞を用いて、学校の規則について、話す技能を身につけている。(SHARE)	目標	＜知識＞ 義務や確信などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 義務や確信などを表す助動詞を用いて、学校生活で気になる規則について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	義務や確信などを表す助動詞を適切に用いて、学校生活でしなければならないことについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	義務や確信などを表す助動詞の表現を適切に用いて、学校の規則について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	義務や確信などを表す助動詞を用いて、学校生活で気になる規則について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	義務や確信などを表す助動詞を用いて、学校生活でしなければならないことについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	義務や確信などを表す助動詞の表現を適切に用いて、学校の規則について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	義務や確信などを表す助動詞を用いて、学校生活で気になる規則について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、義務や確信などを表す助動詞を用いて、学校生活でしなければならないことについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、義務や確信などを表す助動詞の表現を用いて、学校の規則について、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、義務や確信などを表す助動詞を用いて、学校生活で気になる規則について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	学校生活でしなければならないことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	学校の規則についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	学校生活で気になる規則についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	学校生活でしなければならないことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	学校の規則についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	学校生活で気になる規則についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。
	b	学校生活でしなければならないことについての情報を、話して伝え合うことができる。	b	学校の規則についての情報を、話すことができる。	b	学校生活で気になる規則についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、学校生活でしなければならないことについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、学校の規則についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、学校生活で気になる規則についての考えを、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	学校生活でしなければならないことについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	学校の規則についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	学校生活で気になる規則についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	学校生活でなければならないことについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	学校の規則についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	学校生活で気になる規則についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	学校生活でなければならないことについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	学校の規則についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	学校生活で気になる規則についての考えを、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、学校生活でなければならないことについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、学校の規則についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、学校生活で気になる規則についての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 8 Daily Life

単元目標		・依頼や推測などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・日常生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	---

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 依頼や推測などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 依頼や推測などを表す助動詞を用いて、ホームステイ先への頼みごとについて、伝え合う技能を身につけている。(SHARE)	目標	＜知識＞ 依頼や推測などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 依頼や推測などを表す助動詞を用いて、与えられた条件で思いつくことについて、話す技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 依頼や推測などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 依頼や推測などを表す助動詞を用いて、与えられた状況から推測できることについて、書く技能を身につけている。(TASK-C)
	a	依頼や推測などを表す助動詞を適切に用いて、ホームステイ先への頼みごとについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	依頼や推測などを表す助動詞の表現を適切に用いて、与えられた条件で思いつくことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	依頼や推測などを表す助動詞を用いて、与えられた状況から推測できることについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	依頼や推測などを表す助動詞を用いて、ホームステイ先への頼みごとについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	依頼や推測などを表す助動詞の表現を適切に用いて、与えられた条件で思いつくことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	依頼や推測などを表す助動詞を用いて、与えられた状況から推測できることについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、依頼や推測などを表す助動詞を用いて、ホームステイ先への頼みごとについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、依頼や推測などを表す助動詞の表現を用いて、与えられた条件で思いつくことについて、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、依頼や推測などを表す助動詞を用いて、与えられた状況から推測できることについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	ホームステイ先への頼みごとについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE)	目標	与えられた条件で思いつくことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(TASK-A2)	目標	ホストファミリーへのメールについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	ホームステイ先への頼みごとについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	与えられた条件で思いつくことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	ホストファミリーへのメールについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	ホームステイ先への頼みごとについての情報を、話して伝え合うことができる。	b	与えられた条件で思いつくことについての情報を、話すことができる。	b	ホストファミリーへのメールについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、ホームステイ先への頼みごとについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、与えられた条件で思いつくことについての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、ホストファミリーへのメールについての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	ホームステイ先への頼みごとについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	与えられた条件で思いつくことについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	ホストファミリーへのメールについての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	ホームステイ先への頼みごとについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	与えられた条件で思いつくことについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	ホストファミリーへのメールについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	ホームステイ先への頼みごとについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	与えられた条件で思いつくことについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	ホストファミリーへのメールについての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、ホームステイ先への頼みごとについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、与えられた条件で思いつくことについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、ホストファミリーへのメールについての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 9 Transportation and Buildings

単元目標		・受動態を正しく用いて表現することができる。 ・交通や建物について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	--

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 受動態の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 受動態を用いて、有名な建造物について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 受動態の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 受動態を用いて、通学路や交通施設の問題について、話す技能を身につけている。(SHARE)	目標	＜知識＞ 受動態の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 受動態を用いて、交通問題の改善案について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	受動態を適切に用いて、有名な建造物について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	受動態の表現を適切に用いて、通学路や交通施設の問題について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	受動態を用いて、交通問題の改善案について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	受動態を用いて、有名な建造物について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	受動態の表現を適切に用いて、通学路や交通施設の問題について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	受動態を用いて、交通問題の改善案について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、受動態を用いて、有名な建造物について、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、受動態の表現を用いて、通学路や交通施設の問題について、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、受動態を用いて、交通問題の改善案について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	有名な建造物についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	通学路や交通施設の問題についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	交通問題の改善案についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	有名な建造物についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	通学路や交通施設の問題についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	交通問題の改善案についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。
	b	有名な建造物についての情報を、話して伝え合うことができる。	b	通学路や交通施設の問題についての情報を、話すことができる。	b	交通問題の改善案についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、有名な建造物についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、通学路や交通施設の問題についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、交通問題の改善案についての考えを、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	有名な建造物についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	通学路や交通施設の問題についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	交通問題の改善案についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	有名な建造物についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	通学路や交通施設の問題についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	交通問題の改善案についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	有名な建造物についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	通学路や交通施設の問題についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	交通問題の改善案についての考えを、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、有名な建造物についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、通学路や交通施設の問題についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、交通問題の改善案についての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 10 The Future

単元目標	・不定詞の名詞用法を正しく用いて表現することができる。 ・将来したいことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	---

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 不定詞の名詞用法の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 不定詞の名詞用法を用いて、将来の夢について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 不定詞の名詞用法の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 不定詞の名詞用法を用いて、夢や目標について、話す技能を身につけている。(SHARE)	目標	＜知識＞ 不定詞の名詞用法の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 不定詞の名詞用法を用いて、自分の夢などについて、書く技能を身につけている。(TASK-A1/C)
	a	不定詞の名詞用法を適切に用いて、将来の夢について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	不定詞の名詞用法の表現を適切に用いて、夢や目標について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	不定詞の名詞用法を用いて、自分の夢などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	不定詞の名詞用法を用いて、将来の夢について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	不定詞の名詞用法の表現を適切に用いて、夢や目標について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	不定詞の名詞用法を用いて、自分の夢などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、不定詞の名詞用法を用いて、将来の夢について、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、不定詞の名詞用法の表現を用いて、夢や目標について、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、不定詞の名詞用法を用いて、自分の夢などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	将来の夢についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	夢や目標についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	夢や目標の実現に必要なと思うことについて、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	将来の夢についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	夢や目標についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	夢や目標の実現に必要なと思うことについて、論理的に詳しく書くことができる。
	b	将来の夢についての情報を、話して伝え合うことができる。	b	夢や目標についての情報を、話すことができる。	b	夢や目標の実現に必要なと思うことについて、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、将来の夢についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、夢や目標についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、夢や目標の実現に必要なと思うことについて、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	将来の夢についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	夢や目標についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	夢や目標の実現に必要なと思うことについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	将来の夢についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	夢や目標についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	夢や目標の実現に必要なと思うことについて、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	将来の夢についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	夢や目標についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	夢や目標の実現に必要なと思うことについて、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、将来の夢についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、夢や目標についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、夢や目標の実現に必要なと思うことについて、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 11 Staying Healthy

単元目標	・不定詞の形容詞・副詞用法を正しく用いて表現することができる。 ・健康について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 不定詞の形容詞・副詞用法の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、健康のためにしていることを、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 不定詞の形容詞・副詞用法の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、健康維持に必要と思うことについて、話す技能を身につけている。(SHARE)	目標	＜知識＞ 不定詞の形容詞・副詞用法の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、与えられた状況に対する意見などについて、書く技能を身につけている。(TASK-C/D)
	a	不定詞の形容用法を適切に用いて、健康のためにしていることを、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	不定詞の形容詞・副詞用法の表現を適切に用いて、健康維持に必要と思うことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、与えられた状況に対する意見などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、健康のためにしていることを、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	不定詞の形容詞・副詞用法の表現を適切に用いて、健康維持に必要と思うことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、与えられた状況に対する意見などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、健康のためにしていることを、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、不定詞の形容詞・副詞用法の表現を用いて、健康維持に必要と思うことについて、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、不定詞の形容詞・副詞用法を用いて与えられた状況に対する意見などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	健康のためにしていることについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	健康維持に必要と思うことについて、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	健康についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	健康のためにしていることについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	健康維持に必要と思うことについて、論理的に詳しく話すことができる。	a	健康についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。
	b	健康のためにしていることについての情報を、話して伝え合うことができる。	b	健康維持に必要と思うことについて、話すことができる。	b	健康についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、健康のためにしていることについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、健康維持に必要と思うことについて、話すことができる。	c	助けがあれば、健康についての考えを、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	健康のためにしていることについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	健康維持に必要と思うことについて、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	健康についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	健康のためにしていることについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	健康維持に必要と思うことについて、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	健康についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	健康のためにしていることについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	健康維持に必要と思うことについて、話そうとする姿勢が見られる。	b	健康についての考えを、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、健康のためにしていることについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、健康維持に必要と思うことについて、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、健康についての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。

LESSON 12 Convenient Products

単元目標		・使役動詞・知覚動詞などを正しく用いて表現することができる。 ・便利な製品について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	--

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 使役動詞・知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 使役動詞・知覚動詞などを用いて、誕生日にほしい電化製品について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 使役動詞・知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 使役動詞・知覚動詞などを用いて、便利な電化製品について、話す技能を身につけている。(SHARE)	目標	＜知識＞ 使役動詞・知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 使役動詞・知覚動詞などを用いて、ロボット技術などについて、書く技能を身につけている。(TASK-B/C)
	a	使役動詞・知覚動詞などを適切に用いて、誕生日にほしい電化製品について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	使役動詞・知覚動詞などの表現を適切に用いて、便利な電化製品について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	使役動詞・知覚動詞などを用いて、ロボット技術などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	使役動詞・知覚動詞などを用いて、誕生日にほしい電化製品について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	使役動詞・知覚動詞などの表現を適切に用いて、便利な電化製品について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	使役動詞・知覚動詞などを用いて、ロボット技術などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、使役動詞・知覚動詞などを用いて、誕生日にほしい電化製品について、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、使役動詞・知覚動詞などの表現を用いて、便利な電化製品について、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、使役動詞・知覚動詞などを用いてロボット技術などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	誕生日にほしい電化製品についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	便利な電化製品についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	自分が売ってみたい製品についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	誕生日にほしい電化製品についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	便利な電化製品についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	自分が売ってみたい製品についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	誕生日にほしい電化製品についての情報を、話して伝え合うことができる。	b	便利な電化製品についての情報を、話すことができる。	b	自分が売ってみたい製品についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、誕生日にほしい電化製品についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、便利な電化製品についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、自分が売ってみたい製品についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	誕生日にほしい電化製品についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	便利な電化製品についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	自分が売ってみたい製品についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	誕生日にほしい電化製品についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	便利な電化製品についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	自分が売ってみたい製品についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	誕生日にほしい電化製品についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	便利な電化製品についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	自分が売ってみたい製品についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、誕生日にほしい電化製品についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、便利な電化製品についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、自分が売ってみたい製品についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-A2)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 13 Hobbies and Interests

単元目標		・動名詞を正しく用いて表現することができる。 ・趣味・興味について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	--

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 動名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 動名詞を用いて、趣味や興味関心があることについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 動名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 動名詞を用いて、趣味や興味について、話す技能を身につけている。(SHARE)	目標	＜知識＞ 動名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 動名詞を用いて、部活動や積極的に取り組んでいることについて、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	動名詞を適切に用いて、趣味や興味関心があることについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	動名詞の表現を適切に用いて、趣味や興味について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	動名詞を用いて、部活動や積極的に取り組んでいることについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	動名詞を用いて、趣味や興味関心があることについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	動名詞の表現を適切に用いて、趣味や興味について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	動名詞を用いて、部活動や積極的に取り組んでいることについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、動名詞を用いて、趣味や興味関心があることについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、動名詞の表現を用いて、趣味や興味について、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、動名詞を用いて、部活動や積極的に取り組んでいることについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	趣味や興味関心があることについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	趣味や興味についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	部活動や積極的に取り組んでいることについて、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	趣味や興味関心があることについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	趣味や興味についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	部活動や積極的に取り組んでいることについて、論理的に詳しく書くことができる。
	b	趣味や興味関心があることについての情報を、話して伝え合うことができる。	b	趣味や興味についての情報を、話すことができる。	b	部活動や積極的に取り組んでいることについて、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、趣味や興味関心があることについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、趣味や興味についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、部活動や積極的に取り組んでいることについて、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	趣味や興味関心があることについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	趣味や興味についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	部活動や積極的に取り組んでいることについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	趣味や興味関心があることについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	趣味や興味についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	部活動や積極的に取り組んでいることについて、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	趣味や興味関心があることについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	趣味や興味についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	部活動や積極的に取り組んでいることについて、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、趣味や興味関心があることについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、趣味や興味についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、部活動や積極的に取り組んでいることについて、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 14 The World of Nature

単元目標		・分詞を正しく用いて表現することができる。 ・自然について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	--

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 分詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 分詞を用いて、自然や動植物に心を動かされたことについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 分詞の意味や働きについて理解している（TASK-A2） ＜技能＞ 分詞を用いて、自然や動植物に心を動かされたことについて、話す技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 分詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 分詞を用いて、自然・生態系が直面している問題について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	分詞を適切に用いて、自然や動植物に心を動かされたことについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	分詞の表現を適切に用いて、自然や動植物に心を動かされたことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	分詞を用いて、自然・生態系が直面している問題について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	分詞を用いて、自然や動植物に心を動かされたことについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	分詞の表現を適切に用いて、自然や動植物に心を動かされたことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	分詞を用いて、自然・生態系が直面している問題について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、分詞を用いて、自然や動植物に心を動かされたことについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、分詞の表現を用いて、自然や動植物に心を動かされたことについて、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、分詞を用いて自然・生態系が直面している問題について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	自然や動植物に心を動かされたことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	自然や動植物についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	自然・生態系が直面している問題についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	自然や動植物に心を動かされたことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	自然や動植物についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	自然・生態系が直面している問題についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	自然や動植物に心を動かされたことについての情報を、話して伝え合うことができる。	b	自然や動植物についての情報を、話すことができる。	b	自然・生態系が直面している問題についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、自然や動植物に心を動かされたことについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、自然や動植物についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、自然・生態系が直面している問題についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	自然や動植物に心を動かされたことについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	自然や動植物についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	自然・生態系が直面している問題についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	自然や動植物に心を動かされたことについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	自然や動植物についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	自然・生態系が直面している問題についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	自然や動植物に心を動かされたことについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	自然や動植物についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	自然・生態系が直面している問題についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、自然や動植物に心を動かされたことについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、自然や動植物についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、自然・生態系が直面している問題についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 15 Trouble and Accidents

単元目標		・分詞構文などを正しく用いて表現することができる。 ・トラブル・事故について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	---

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 分詞構文などの意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 分詞構文などを用いて、自分や周りの人に起きたトラブルについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 分詞構文などの意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 分詞構文などを用いて、困った出来事について、話す技能を身につけている。(SHARE)	目標	＜知識＞ 分詞構文などの意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 分詞構文などを用いて、最近の事故や出来事について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	分詞構文などを適切に用いて、自分や周りの人に起きたトラブルについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	分詞構文などの表現を適切に用いて、困った出来事について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	分詞構文などを用いて、最近の事故や出来事について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	分詞構文などを用いて、自分や周りの人に起きたトラブルについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	分詞構文などの表現を適切に用いて、困った出来事について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	分詞構文などを用いて、最近の事故や出来事について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、分詞構文などを用いて、自分や周りの人に起きたトラブルについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、分詞構文などの表現を用いて、困った出来事について、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、分詞構文などを用いて最近の事故や出来事について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	困った出来事などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)(SHARE)	目標	困った出来事についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	最近の事故や出来事についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	困った出来事などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	困った出来事についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	最近の事故や出来事についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	困った出来事などについての情報を、話して伝え合うことができる。	b	困った出来事についての情報を、話すことができる。	b	最近の事故や出来事についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、困った出来事などについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、困った出来事についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、最近の事故や出来事についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	困った出来事についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)(SHARE)	目標	困った出来事についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	最近の事故や出来事についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	困った出来事についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	困った出来事についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	最近の事故や出来事についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	困った出来事についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	困った出来事についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	最近の事故や出来事についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、困った出来事についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、困った出来事についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、最近の事故や出来事についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 16 Inventions and Breakthroughs

単元目標		・関係代名詞を正しく用いて表現することができる。 ・発明・進歩について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	--

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	<知識> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) <技能> 関係代名詞を用いて、発明や偉業を成し遂げた人物について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	<知識> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) <技能> 関係代名詞を用いて、発明や偉業を成し遂げた人物について、話す技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	<知識> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) <技能> 関係代名詞を用いて、考えた発明品について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	関係代名詞を適切に用いて、発明や偉業を成し遂げた人物について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	関係代名詞の表現を適切に用いて、発明や偉業を成し遂げた人物について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	関係代名詞を用いて、考えた発明品について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	関係代名詞を用いて、発明や偉業を成し遂げた人物について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	関係代名詞の表現を適切に用いて、発明や偉業を成し遂げた人物について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	関係代名詞を用いて、考えた発明品について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、関係代名詞を用いて、発明や偉業を成し遂げた人物について、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、関係代名詞の表現を用いて、発明や偉業を成し遂げた人物について、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、関係代名詞を用いて、考えた発明品について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	発明や偉業を成し遂げた人物についての感想を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	発明品についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	考えた発明品についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	発明や偉業を成し遂げた人物についての感想を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	発明品についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	考えた発明品についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	発明や偉業を成し遂げた人物についての感想を、話して伝え合うことができる。	b	発明品についての情報を、話すことができる。	b	考えた発明品についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、発明や偉業を成し遂げた人物についての感想を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、発明品についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、考えた発明品についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	発明や偉業を成し遂げた人物についての感想を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	発明品についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	考えた発明品についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	発明や偉業を成し遂げた人物についての感想を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	発明品についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	考えた発明品についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	発明や偉業を成し遂げた人物についての感想を、伝え合う姿勢が見られる。	b	発明品についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	考えた発明品についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、発明や偉業を成し遂げた人物についての感想を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、発明品についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、考えた発明品についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 17 Community Service

単元目標		・関係代名詞（非制限用法）などを正しく用いて表現することができる。 ・社会活動について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢が見られる。
------	--	--

		話す（やり取り）			話す（発表）			書く
知識・技能	目標	＜知識＞ 関係代名詞（非制限用法）の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 関係代名詞（非制限用法）を用いて、興味のある分野の内容や活躍している人について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 関係代名詞（非制限用法）の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 関係代名詞（非制限用法）を用いて、興味のある分野の内容や活躍している人について、話す技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 関係代名詞（非制限用法）の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 関係代名詞（非制限用法）を用いて、就きたい職業のために何をすべきかについて、書く技能を身につけている。(TASK-C)		
	a	関係代名詞（非制限用法）を適切に用いて、興味のある分野の内容や活躍している人について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	関係代名詞（非制限用法）の表現を適切に用いて、興味のある分野の内容や活躍している人について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	関係代名詞（非制限用法）を用いて、就きたい職業のために何をすべきかについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。		
	b	関係代名詞（非制限用法）を用いて、興味のある分野の内容や活躍している人について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	関係代名詞（非制限用法）の表現を適切に用いて、興味のある分野の内容や活躍している人について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	関係代名詞（非制限用法）を用いて、就きたい職業のために何をすべきかについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。		
	c	助けがあれば、関係代名詞（非制限用法）を用いて、興味のある分野の内容や活躍している人について、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、関係代名詞（非制限用法）の表現を用いて、興味のある分野の内容や活躍している人について、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、関係代名詞（非制限用法）を用いて、就きたい職業のために何をすべきかについて、何とか書くことができる。		
思考・判断・表現	目標	興味のある分野の内容や活躍している人について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	ボランティア活動についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	ボランティア活動の必修化について、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)		
	a	興味のある分野の内容や活躍している人について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	ボランティア活動についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	ボランティア活動の必修化について、論理的に詳しく書くことができる。		
	b	興味のある分野の内容や活躍している人について、話して伝え合うことができる。	b	ボランティア活動についての情報を、話すことができる。	b	ボランティア活動の必修化について、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。		
	c	助けがあれば、興味のある分野の内容や活躍している人について、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、ボランティア活動についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、ボランティア活動の必修化について、何とか書くことができる。		
主体的に学習に取り組む態度	目標	興味のある分野の内容や活躍している人について、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	ボランティア活動についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	ボランティア活動の必修化について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)		
	a	興味のある分野の内容や活躍している人について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	ボランティア活動についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	ボランティア活動の必修化について、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。		
	b	興味のある分野の内容や活躍している人について、伝え合う姿勢が見られる。	b	ボランティア活動についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	ボランティア活動の必修化について、書こうとする態度が見られる。		
	c	助けがあれば、興味のある分野の内容や活躍している人について、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、ボランティア活動についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、ボランティア活動の必修化について、何とか書こうとする態度が見られる。		

LESSON 18 Events and Customs

単元目標		・関係副詞などを正しく用いて表現することができる。 ・行事・慣習について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	---

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 関係副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 関係副詞を用いて、地域の行事やお祭りについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 関係副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 関係副詞を用いて、地域の行事やお祭りについて、話す技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 関係副詞や複合関係詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 関係副詞を用いて、日本の慣習などについて、書く技能を身につけている。(TASK-B/C)
	a	関係副詞適切に用いて、地域の行事やお祭りについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	関係副詞の表現を適切に用いて、地域の行事やお祭りについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	関係副詞や複合関係詞を用いて、日本の慣習などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	関係副詞を用いて、地域の行事やお祭りについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	関係副詞の表現を適切に用いて、地域の行事やお祭りについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	関係副詞や複合関係詞を用いて、日本の慣習などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、関係副詞を用いて、地域の行事やお祭りについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、関係副詞の表現を用いて、地域の行事やお祭りについて、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、関係副詞や複合関係詞を用いて日本の慣習などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	地域の行事やお祭りについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	日本の慣習やマナーについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	50年後も存続していると思う日本の慣習についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	地域の行事やお祭りについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	日本の慣習やマナーについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	50年後も存続していると思う日本の慣習についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	地域の行事やお祭りについての情報を、話して伝え合うことができる。	b	日本の慣習やマナーについての情報を、話すことができる。	b	50年後も存続していると思う日本の慣習についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、地域の行事やお祭りについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、日本の慣習やマナーについての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、50年後も存続していると思う日本の慣習についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	地域の行事やお祭りについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	日本の慣習やマナーについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	50年後も存続していると思う日本の慣習についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	地域の行事やお祭りについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	日本の慣習やマナーについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	50年後も存続していると思う日本の慣習についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	地域の行事やお祭りについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	日本の慣習やマナーについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	50年後も存続していると思う日本の慣習についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、地域の行事やお祭りについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、日本の慣習やマナーについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、50年後も存続していると思う日本の慣習についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 19 Living Environment

単元目標		・比較表現を正しく用いて表現することができる。 ・生活環境について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	--

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 比較表現の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 比較表現を用いて、物件を比較してどこに住むかについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 比較表現の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 比較表現を用いて、物件を比較してどこに住むかについて、話す技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 比較表現の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/C) ＜技能＞ 比較表現を用いて、海外の都市と身近な都市を比較したことについて、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	比較表現を適切に用いて、物件を比較してどこに住むかについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	比較表現の表現を適切に用いて、物件を比較してどこに住むかについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	比較表現を用いて、海外の都市と身近な都市を比較したことについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	比較表現を用いて、物件を比較してどこに住むかについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	比較表現の表現を適切に用いて、物件を比較してどこに住むかについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	比較表現を用いて、海外の都市と身近な都市を比較したことについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、比較表現を用いて、物件を比較してどこに住むかについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、比較表現の表現を用いて、物件を比較してどこに住むかについて、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、比較表現を用いて、海外の都市と身近な都市を比較したことについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	さまざまな生活環境を比較してどこに住むかについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-B)(SHARE)	目標	物件を比較してどこに住むかについて、論理的に詳しく話すことができる。(TASK-A2)	目標	海外の都市と身近な都市を比較したことについて、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	さまざまな生活環境を比較してどこに住むかについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	物件を比較してどこに住むかについて、論理的に詳しく話すことができる。	a	海外の都市と身近な都市を比較したことについて、論理的に詳しく書くことができる。
	b	さまざまな生活環境を比較してどこに住むかについての情報を、話して伝え合うことができる。	b	物件を比較してどこに住むかについて、話すことができる。	b	海外の都市と身近な都市を比較したことについて、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、さまざまな生活環境を比較してどこに住むかについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、物件を比較してどこに住むかについて、話すことができる。	c	助けがあれば、海外の都市と身近な都市を比較したことについて、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	さまざまな生活環境を比較してどこに住むかについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B)(SHARE)	目標	物件を比較してどこに住むかについて、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	海外の都市と身近な都市を比較したことについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	さまざまな生活環境を比較してどこに住むかについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	物件を比較してどこに住むかについて、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	海外の都市と身近な都市を比較したことについて、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	さまざまな生活環境を比較してどこに住むかについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	物件を比較してどこに住むかについて、話そうとする姿勢が見られる。	b	海外の都市と身近な都市を比較したことについて、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、さまざまな生活環境を比較してどこに住むかについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、物件を比較してどこに住むかについて、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、海外の都市と身近な都市を比較したことについて、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-A2)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 20 Social Problems

単元目標		・最上級を正しく用いて表現することができる。 ・社会問題について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	---

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 最上級の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 最上級を用いて、日本の深刻な社会問題ついて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 最上級の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 最上級を用いて、社会問題に対してすべきことについて、話す技能を身につけている。(SHARE)	目標	＜知識＞ 最上級の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 最上級を用いて、世界で起こっている環境問題の原因と結果について、書く技能を身につけている。(TASK-C)
	a	最上級を適切に用いて、日本の深刻な社会問題ついて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	最上級の表現を適切に用いて、社会問題に対してすべきことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	最上級を用いて、世界で起こっている環境問題の原因と結果について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	最上級を用いて、日本の深刻な社会問題ついて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	最上級の表現を適切に用いて、社会問題に対してすべきことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	最上級を用いて、世界で起こっている環境問題の原因と結果について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、最上級を用いて、日本の深刻な社会問題ついて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、最上級の表現を用いて、社会問題に対してすべきことについて、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、最上級を用いて、世界で起こっている環境問題の原因と結果について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	日本の深刻な社会問題についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	社会問題に対してすべきことについての考えを、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	日本の社会が直面している問題についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	日本の深刻な社会問題についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	社会問題に対してすべきことについての考えを、論理的に詳しく話すことができる。	a	日本の社会が直面している問題についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	日本の深刻な社会問題についての情報を、話して伝え合うことができる。	b	社会問題に対してすべきことについての考えを、話すことができる。	b	日本の社会が直面している問題についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、日本の深刻な社会問題についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、社会問題に対してすべきことについての考えを、話すことができる。	c	助けがあれば、日本の社会が直面している問題についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	日本の深刻な社会問題についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	社会問題に対してすべきことについての考えを、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	日本の社会が直面している問題についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	日本の深刻な社会問題についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	社会問題に対してすべきことについての考えを、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	日本の社会が直面している問題についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	日本の深刻な社会問題についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	社会問題に対してすべきことについての考えを、話そうとする姿勢が見られる。	b	日本の社会が直面している問題についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、日本の深刻な社会問題についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、社会問題に対してすべきことについての考えを、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、日本の社会が直面している問題についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

LESSON 21 Making a Wish

単元目標		・仮定法を正しく用いて表現することができる。 ・願い事について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
------	--	--

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	<知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) <技能> 仮定法を用いて、与えられた設定で自分ならどうするかについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	<知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) <技能> 仮定法を用いて、今年度の反省点と来年度の抱負について、話す技能を身につけている。(SHARE)	目標	<知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) <技能> 仮定法を用いて、自分の願望について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	仮定法を適切に用いて、与えられた設定で自分ならどうするかについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	仮定法の表現を適切に用いて、今年度の反省点と来年度の抱負について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	仮定法を用いて、自分の願望について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	仮定法を用いて、与えられた設定で自分ならどうするかについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	仮定法の表現を適切に用いて、今年度の反省点と来年度の抱負について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	仮定法を用いて、自分の願望について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、仮定法を用いて、与えられた設定で自分ならどうするかについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、仮定法の表現を用いて、今年度の反省点と来年度の抱負について、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、仮定法を用いて、自分の願望について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	与えられた設定で自分ならどうするかについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	自分の願望についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	与えられた設定で自分ならどうするかについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	自分の願望についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	与えられた設定で自分ならどうするかについての情報を、話して伝え合うことができる。	b	今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、話すことができる。	b	自分の願望についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、与えられた設定で自分ならどうするかについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、自分の願望についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	与えられた設定で自分ならどうするかについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	自分の願望についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	与えられた設定で自分ならどうするかについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	自分の願望についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	与えられた設定で自分ならどうするかについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	自分の願望についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、与えられた設定で自分ならどうするかについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、自分の願望についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 22 Cross-Cultural Communication

単元目標		・接続詞を正しく用いて表現することができる。 ・異文化理解について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢が見られる。
------	--	--

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ 接続詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 接続詞を用いて、グローバル化の利点と欠点について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 接続詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ 接続詞を用いて、グローバル化について、話す技能を身につけている。(SHARE)	目標	＜知識＞ 接続詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ 接続詞を用いて、"Think globally, act locally"について自分の考えを、書く技能を身につけている。(TASK-C)
	a	接続詞を適切に用いて、グローバル化の利点と欠点について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	接続詞の表現を適切に用いて、グローバル化について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	接続詞を用いて、"Think globally, act locally"について自分の考えを、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	接続詞を用いて、グローバル化の利点と欠点について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	接続詞の表現を適切に用いて、グローバル化について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	接続詞を用いて、"Think globally, act locally"について自分の考えを、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、接続詞を用いて、グローバル化の利点と欠点について、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、接続詞の表現を用いて、グローバル化について、何とか英語で話すことがで きる。	c	助けがあれば、接続詞を用いて、"Think globally, act locally"について自分の考え を、何とか書くことができる。
思考・判断・ 表現	目標	グローバル化の利点と欠点について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2)	目標	グローバル化についての意見を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	異文化理解で大切なことについての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	グローバル化の利点と欠点について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	グローバル化についての意見を、論理的に詳しく話すことができる。	a	異文化理解で大切なことについての考えを、論理的に詳しく書くことができる。
	b	グローバル化の利点と欠点について、話して伝え合うことができる。	b	グローバル化についての意見を、話すことができる。	b	異文化理解で大切なことについての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができ る。
	c	助けがあれば、グローバル化の利点と欠点について、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、グローバル化についての意見を、話すことができる。	c	助けがあれば、異文化理解で大切なことについての考えを、何とか書くことができる。
主体的に 学習に取り 組む態度	目標	グローバル化の利点と欠点について、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発 話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	グローバル化についての意見を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り 返し、改善点を見出している。(SHARE)	目標	異文化理解で大切なことについての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の 書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	グローバル化の利点と欠点について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、 自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見 出している。	a	グローバル化についての意見を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。ま た、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	異文化理解で大切なことについての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が 見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	グローバル化の利点と欠点について、伝え合う姿勢が見られる。	b	グローバル化についての意見を、話そうとする姿勢が見られる。	b	異文化理解で大切なことについての考えを、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、グローバル化の利点と欠点について、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、グローバル化についての意見を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、異文化理解で大切なことについての考えを、何とか書こうとする態度が見ら れる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/C)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 23 Languages and Communication

単元目標		・that説を正しく用いて表現することができる。 ・ことばとコミュニケーションについて、自分の意見を話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢が見られる。
------	--	---

	話す（やり取り）		話す（発表）		書く	
知識・技能	目標	＜知識＞ that説の意味や働きについて理解している。(TASK-A2/B) ＜技能＞ that説を用いて、英語学習の意義や英語を習得する方法について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2/B)	目標	＜知識＞ that説の意味や働きについて理解している。(TASK-A2) ＜技能＞ that説を用いて、コミュニケーションスキルについて、話す技能を身につけている。(SHARE)	目標	＜知識＞ that説の意味や働きについて理解している。(TASK-A1/B/C) ＜技能＞ that説を用いて、多様な言語の接し方について、書く技能を身につけている。(TASK-C)
	a	that説を適切に用いて、英語学習の意義や英語を習得する方法について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	that説の表現を適切に用いて、コミュニケーションスキルについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	that説を用いて、多様な言語の接し方について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	that説を用いて、英語学習の意義や英語を習得する方法について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	that説の表現を適切に用いて、コミュニケーションスキルについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	that説を用いて、多様な言語の接し方について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、that説を用いて、英語学習の意義や英語を習得する方法について、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、that説の表現を用いて、コミュニケーションスキルについて、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、that説を用いて、多様な言語の接し方について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	英語学習の意義や英語を習得する方法についての考えを、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A2/B)	目標	コミュニケーションスキルについての意見を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	コミュニケーションで生じる誤解を防ぐためにできることについての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	英語学習の意義や英語を習得する方法についての考えを、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	コミュニケーションスキルについての意見を、論理的に詳しく話すことができる。	a	コミュニケーションで生じる誤解を防ぐためにできることについての考えを、論理的に詳しく書くことができる。
	b	英語学習の意義や英語を習得する方法についての考えを、話して伝え合うことができる。	b	コミュニケーションスキルについての意見を、話すことができる。	b	コミュニケーションで生じる誤解を防ぐためにできることについての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、英語学習の意義や英語を習得する方法についての考えを、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、コミュニケーションスキルについての意見を、話すことができる。	c	助けがあれば、コミュニケーションで生じる誤解を防ぐためにできることについての考えを、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	英語学習の意義や英語を習得する方法についての考えを、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2/B)	目標	コミュニケーションスキルについての意見を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	コミュニケーションで生じる誤解を防ぐためにできることについての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	英語学習の意義や英語を習得する方法についての考えを、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	コミュニケーションスキルについての意見を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	コミュニケーションで生じる誤解を防ぐためにできることについての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	英語学習の意義や英語を習得する方法についての考えを、伝え合う姿勢が見られる。	b	コミュニケーションスキルについての意見を、話そうとする姿勢が見られる。	b	コミュニケーションで生じる誤解を防ぐためにできることについての考えを、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、英語学習の意義や英語を習得する方法についての考えを、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、コミュニケーションスキルについての意見を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、コミュニケーションで生じる誤解を防ぐためにできることについての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。